

「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業【富山県】

総事業費

390 千円

交付金額

195 円

地域の実情と課題

- ①富山県における建設業の女性従事者の割合（R3）は19.8%で、全産業（43.6%）に比べて低い
- ②建設業は、従事者の減少とともに高齢化が進んでおり、今後の建設業界の担い手確保対策として、女性の入職・定着の促進を図ることが必要

事業の特徴

建設系学科を専攻する女子大学生を対象に、

- ①建設現場における女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを知ってもらう見学会を開催する
- ②第一線で活躍している女性技術者と直接、意見交換・交流できる座談会を開催する
- ③女性技術者の仕事、キャリア形成や働き方改革に関する取組みについてセミナー形式で紹介する

事業の効果

- ①女子大学生と女性技術者による現場見学会
参加者：女子大学生42名
- ②女子大学生と女性技術者との座談会
参加者：女子大学生17名、女性技術者9名
- ③経営者等による女子大学生向けセミナー
参加者：女子大学生42名、女性技術者2名

目的・目標

項目	現状	目標
富山県における建設業の女性従事者の割合	19.8%(R3)	20.0%

連携団体

- （一社）富山県建設業協会
 - 県内大学（富山大学、富山県立大学）
 - 県内建設企業
- ほか

今後の課題

建設業のイメージアップを図り、建設業界でも女性が活躍できることや職場環境等を実際に知ってもらうことで、就職先の選択肢の1つとして認識してもらうだけでなく、実際に建設業への入職・定着につなげていく必要がある。

事業の概要

（１）「女子大学生と女性技術者による現場見学会」の開催

建設現場での女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを、女子大学生に見学してもらい、建設業界でも女性が活躍できることを知り、就職先の選択肢の１つとして認識してもらうことにより、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・現場で働く女性を見て、建設業で働く将来をイメージできた。
- ・男性も女性も対等に仕事できることが魅力的だと感じた。 など



（２）「女子大学生と女性技術者との座談会」の開催

建設業界で働くイメージや、職場の環境・雰囲気、仕事とプライベートの両立など、普段は聞くことのできない疑問や不安について、女子大学生が、第一線で活躍している女性技術者と直接意見交換できる座談会を開催し、不安を払拭するとともに参加者どうしの交流を深めることで、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・建設業は女性が少ないイメージが強かったが、女性も中心となって仕事をしていることを知り、イメージが大きく変わった。
- ・建設業は女性に厳しいイメージ（体力的につらい、女性の福利厚生が十分とは言えない）があったが、そうではないと感じた。 など



（３）「経営者等による女子大学生向けセミナー」の開催

女子大学生が県内建設企業の魅力を知り、実際に働くイメージが持てるよう、県内建設企業の職場環境やキャリアアップ、女性技術者の活躍事例などの話を聞くセミナーを開催し、採用、就職、入社後の具体的なイメージをつかむことにより、県内建設企業への関心を高め、入職・定着につなげる。